



学校だより 7月号

「りんかい」

ホームページアドレス

<http://www.edogawaku.ed.jp/rinkais>

令和6年6月28日(金)
江戸川区立臨海小学校
校長 西沢 盛和

「早くしなさい！」

副校長 井ノ口 達哉

『早くしなさい』

どのご家庭でも毎日のように聞こえてくる言葉ではないでしょうか。

お家の人からやって欲しいこと、やるべきことを子どもたちに優しく伝えます。

『お風呂に入ってね。』『机の上、片づけておいてね。』

「はーい。」「あとでやるよ。」

返事は良いんです。けれどもいつまでたってもやりません。

もう一度優しく伝えます。

「分かってるって!」「今やろうとしてたところ!」

けれどもいつまでたってもやりません。

『いっかげんにしなさい!』『いつになったらするの!』

さて、この子供たちは言われたことをするつもりがないのでしょうか。

そんなことはありません。言われたことはしようとしていますし、しなければならぬこともよくわかっています。ただ、今はほかに夢中になっているものがあつたり、気になるものがあつたりするだけなのです。子供は大人のようにマルチタスクで物事はできません。1つのことに一生懸命、それは子供本来の姿です。夢中になっていることがあれば他のことは後回しです。ですから、残念ながら「早くしなさい!」はあまり効果がありません。

では、どうすれば叱られる前にできるようになるのでしょうか。(保護者の皆さんがイライラしないですむでしょうか。)

学校では時間や曜日である程度すべきことが決まっています。それが日常化しています。さらに、集団で生活していますから、周りに良いモデルがいます。何か夢中になっていることがあつても、周りを見てふと我に返ります。多くの子たちが、言われなくても行動します。学年が上がってくれば、互いに声を掛け合って必要な行動をとります。

しかし家では違います。学校ほどは予定やきまりに縛られません。周りにモデルもなく、自分だけ遅れて焦ることもありません。家は子供たちにとって「自分だけの時間」ができる貴重な場所なのです。それは大切にしたいものです。

キーワードは「一緒にする」「待つ」「あきらめない」です。

『一緒にしよう。待ってるね。』

「一緒にする」ことで、良いモデルを示しながらできるようになります。また、待っている人がいることは夢中になっている事を終わらせるきっかけになってくれます。

すぐには行動に出ないでしょうが、根気強く「待つ」てください。大人が思ったタイミングとは違うでしょうが、きっと自分から行動します。このタイミングは子供ひとりひとり違います。大人の物差しだけで考えず、その子のペースをつかんであげてください。

そして「あきらめない」。何回言ってもできるようにならない。そんなものです。けど確実に、その子なりにペースアップしているはずです。昨日はできたのに、があるかもしれません。良いのです。できたりできなかつたりして成長していきます。

ペースやタイミングは皆それぞれ、必要な支援も皆それぞれです。

学校が休みになれば多くの子供たちは生活ペースが乱れます。しかし、学校がある今の時期は、子供たちそれぞれの特徴を把握するチャンスです。

あと20日で夏休み。保護者の皆様がおおらかな気持ちで心穏やかな夏休みを過ごせるよう、お子様にとってベストの支援を探ってみてください。

